

2019年8月26日

各位

株式会社リボミック  
(コード番号:4591 東証マザーズ)

## RBM-007による加齢黄斑変性の治療薬開発に関する学術論文の掲載と EURETINA 国際会議での発表について

当社は、RBM-007(抗 FGF2 アプタマー)を用いた、滲出型加齢黄斑変性に対する第 1/2a 相臨床試験を、米国で成功裏に完了いたしました。本化合物の作用機序に関する学術論文が著名な国際学術誌 (*Molecular Therapy Nucleic Acids*) の電子版に掲載されましたのでお知らせします。

これらの研究成果と米国で完了した第 1/2a 相試験のポジティブな結果は、2019年9月5～8日にパリで開催される EURETINA 2019 国際会議 (<http://www.euretina.org/paris2019/>) で発表の予定です。

学術論文タイトル: Anti-angiogenic and anti-scarring dual action of an anti-fibroblast growth factor 2 aptamer in animal models of retinal disease

([https://www.cell.com/molecular-therapy-family/nucleic-acids/pdfExtended/S2162-2531\(19\)30208-2](https://www.cell.com/molecular-therapy-family/nucleic-acids/pdfExtended/S2162-2531(19)30208-2))

以上

【本件に関するお問い合わせ先：経営企画部 03-3440-3745】